

# STAR DUST encore special story 1st LOVESONG

After 7 Days

千子村正×ギルガメッシュ(弓)+マーリン×キャスギル

R-18

For adult only

Spring LOVE





夢を見なくなった

言いようのない  
恋じさに泣いて  
目覚める事は  
もうない

空白の夢の内容に  
思いを馳せ

もどかしさに  
苦しむ事も

今  
胸を満たしているのは

ただ

……しんろう？



暖かい……



悪いなあ

士郎はまだ  
寝てんだ



ん……

……ほうか……



幸せだ……

今日  
依代の小僧に  
体の操作を強引に  
押し付けた

自分以外の人間が  
体を動かす感覚は  
不思議なものだった



同じ感覚を  
共有するのだと  
知った



抱きしめ  
身体のあたたかさ  
やつと会えた  
嬉しさと

自分の不甲斐なさ

愛する人を悲しませた  
罪悪感

そういうもの全部



そして  
あんなにも

あっあっ…

しろっ…っ

満たされる時間は

初めてだった

すぎっ…っ

ううっ…  
しろっ

すぎ…っ

すぎ…っ



もう野郎か女かなんて  
関係なかった

すき……っ

ただ目の前の人  
泣いて

すき……っ

ああん……  
すき……

涙を流しながら  
自分を好きだと  
繰り返すのが  
全でだった

……ギル……っ

すきい……っ

愛おしくて愛おしくて

もう  
たまんなかった

ギルガメツシユは  
本当にかわいい

あ……

めまいがする  
ぐれえにかわいい

あ……

そう見えるのも  
士郎と感覚を共有するが  
故なのか

ああ……っ

それとも  
儂個人の感覚なのか……

また  
いく……っ

今となつちや  
確認しようがないが

まあどつちだっていい

ひゃあああ……っ

きもちいな  
ギル

これから先ずっと

一緒に歩いていくんだ

んん……きもちい……

光を抱いて  
この日不器用な少年と新たな一歩を踏み出した

After **7** Days

STARDUST LOVESONG  
encore special story **1st**

STARDUST LOVESONG  
The story so far

村正がカルデアで最初に受けた洗礼は最悪なものだった。

抱きついた外国人の男は泣きながら言う。

「ずっと会いたかった」

と。

Tシャツ、コーヒー、ビール。

見たことも聞いたこともない品々のはずだった。

男なんか抱こうと思ったことすらなかった。

なのに。

紅い瞳に誘われるまま何度も組み敷いた。

犯されながら金髪の男は必死に別の名を呼ぶ。

依代にした体の名は「シロウ」。

夢の中で「シロウ」は首を振った。

”一度きりにしてやりたいんだ、俺と死に別れるの”

金髪の男に涙を拭われて目覚める日が続いた。

溢れる懐かしさのまま抱きしめても

夢の内容は思い出せない。

なぜかひたすらにこの男が愛おしかった。

「シロウ」は言葉通り全く出てこない。

金髪の男が苦しむ姿をもう見たくなかった。

これからは自分が愛するからと

覚悟を決めて抱きしめると男は悲痛な声で叫んだ。

その言葉をかけるべきはもう一人の自分だと。

シロウの口調を真似て話しかけても

最初の日抱きついたとき

引き籠っていたらしいもう一人は

自分をシロウと呼んで笑ってはくれなかった。

再び夢の中で対峙する。

必ず会わせてやるという強い意思で

村正は衛宮士郎に体を引き渡した。





後編  
2018.5

前編  
2018.3



この本は  
「STARDUST LOVESONG 前編」  
「STARDUST LOVESONG 後編」  
の2冊の後日談となっております。

この2冊を読んでないとわからない部分が多々あると思うので未読の方はご注意ください  
この2冊も読んでみようかなって方はぜひ前編後編をお読みになった後で…!

後編はハッピーエンドなんですがあれだとまだ不完全燃焼というか  
士郎と英雄王はくっついてめでたしたけど村正は？戦いの時だけ？ってなった方もいたんじゃないかと…  
もちろんそんな事はないんですが締切が待ってくれなくて(なんせページ数が鬼)  
そこまで補完しきれなかった；；

それをちゃんと補完するため！あれから楽しい毎日がスタートしたよ！という  
この本はじじいと宿主と王様のどたばたエッチな日常ラブコメシリーズものの1つ目になります  
今回では一件が落ち着きマリギルは完全見守りの立場なので出番は少なめですゴメン…!



この本は成人向けです。高校生含む18歳未満の方は見てはいけません。

異物挿入プレイがあります、苦手な方はご注意!





顔

ずっと  
笑ってるけど



何か良い事でも  
あった？



ただかとても  
嬉しそうだから

変な意味じゃ  
ないんだ



……？



どうしたの  
かなって



……実は



最近とてもな…



何事だアア騒々しいツ!!



我!



ここは王の居室であるぞ!!

今とりこんでおるのか!?

話があるのだ!



扉を開けよ我……っ



キタムー



たのむ……っ

我をここに  
匿え…!!



何か  
あったのか？



すまぬ……っ  
気付かず怒鳴って  
しまった……

おまえ……!



頼むだなんて  
なかなか聞け  
ないよなあ

どうした  
どうした



おまえが  
あのよう  
に慌てる  
などに



一体どう  
したと  
いうのだ



ただ事  
では  
あるまい



…マー  
リン



あれを  
用意せよ

え今？



ああ…

我に英国の  
焼き菓子  
を振舞った  
であらう



貴様先日

シンプルだが  
素朴な味わいで

なかなか  
美味であつた  
ゆえな

英雄王にも  
食べさせて  
やりたい

うんと……

あれ焼くの  
時間かかるん  
だけど……

構わぬ

……ハハ

それは  
光栄だ……

焦がさぬ  
ようにな!

ついでに  
暖かい紅茶も  
淹れるがよいぞ!

はいはい  
仰せのままに

ハイハイ

……



我以外  
おまえの話  
聞く者は  
おらぬ

…これで

この方が  
話し易  
かろう



我に  
話したい  
事  
は何だ？

なんでも  
申してみよ



私の体が

変なのだ…！

…体が…

体が変…？

どこか  
悪いのか？

……や……

そうではなく……

……その……

……ん

無理に  
申さずとも  
よい

そもそも  
理由など無くとも  
好きなだけここに  
居て良いのだぞ

我はいつでも  
おまえの味方で  
……

……あ

よいかし  
よいか？

おまえには  
あの男が

……何なのだ  
一体……



アツ



ギルガメツシュ  
来てます……よ……

ね………?



あつ……

我こそが  
ギルガメツシュで  
ある……

貴様何を  
照れておるのだ  
気色悪い!

ツギツギ!!

王に拝謁を望む  
のであればそれ  
相応の礼節を  
もつて……

ここは  
カルデアでの  
我が寝所であるわ  
たわけ

来るも何も

あつギルっ!!

は?





この…っ！

隠れたっからな!!  
ムダだからな!!



無礼な!  
尊きウルク王を  
何と心得る!

不敬が過ぎるぞ!

不敬とか

なア…っ



礼節とか

そんな事  
言ってる場合じゃ

ないんですよ



そんな事  
だと…?!





……それで

士郎と再会  
した後すぐに

我らは  
部屋へ戻り  
抱き合った

口付けを  
しただけで  
極めた時

我が心だけ  
ではなく

身体も  
士郎を求めて  
いたのだと

むしろ  
嬉しかった……

ざっと  
五百年分くらいは  
抱き合った

お互い  
もう一滴も出ない  
眠程になったのだ

……しかし  
その後も

ギルウ……

お疲れ様……

ほんの  
挨拶程度の  
口付けで……





我的话を  
最後まで聞かぬか  
馬鹿者…!

ああ…

なんとなく  
この二人の関係が  
わかった気がする…

二人きり  
だろうが人前

ガマンなど  
できる訳が  
ない…



お前といれば  
口付けたくなる



お前とい  
ことで英雄王  
としての尊厳が  
保てぬなら

我は逃げる  
しかない…



本当は  
片時も離れたく  
ないのだぞ？



ずっと  
待っていたのだ  
…本当に…



話  
は  
分  
か  
っ  
た

…  
成  
る  
程



以前  
この男と交わした  
「恋人同士のルール」  
などという

くだらぬ誓約を  
今の今まで愚直に  
守ってきたこれは



足り  
て  
い  
な  
い  
の  
だ  
な

お  
ま  
え  
は



我…っ

あらゆる  
誘いのだぞ

こやつには  
言わらぬ!



感謝する  
小僧

やりたくて  
やりたくて  
気が狂いそう  
だったであろうに

…よいか  
我よ

わかったかつ

おまえの体は  
そのくらいでは  
足りぬと言っ  
てるのだぞ

心の方は  
一晩抱き合っ  
て満たされたか  
も

そういう事だ  
小僧!!

…っは？

これは

貴様の責任だ…!!



**STARDUST LOVESONG**  
**After 7 Days**



もう一人の  
ギルガメッシュ  
から

俺たちは  
思わぬ  
プレゼントを  
貰った

カキ

お前たち二人を  
七日間休ませるよう  
雑種に命じてきた

「しばらく宝物庫に  
籠るので全然いいですよ！」  
との事だ

この期間で  
ゆっくりと  
体を満たすがよい

……うしろさめ

旅先のホテルに  
泊まってるみたい  
だよな

よく二人で  
旅行したじゃん

まだ  
あんまり

自分の部屋  
って実感  
わかないな

すげえ  
懐かしい

この感じ

二人きりの

スィ

引きこもりの  
七日間だ

俺の任務は  
この一週間で

ギルガメッシュと  
たくさんエッチして  
身体を満たして  
あげること

…ギル

口付けただけで…

ンンン……ッ!!

BO



アっ...あっ...

こんな事に  
なってしまっ

んん...っ

ガマンしすぎて  
狂ってしまった  
身体の

ひゃ...ああん...っ

元に戻してあげることだ



ギル

いった?

大丈夫か?

...いいこだな



...屈辱だ...



星を統べた  
至高の英雄王が

たかがキス  
...ごときでこのような

無様にも程がある...

ホント  
おまえは

変な方向に  
プライド高い  
んだから

好きな人との  
キスを

いいかギル

たか  
なにかが  
ダメだぞ

お前が  
キスだけで  
感じてくれて

俺  
嬉しいんだから

あ…

しろ…

…うわ

ローション  
いらな  
いかも

いいから  
早く脱がせよ!

いっばい  
出たない

なあお前さ

俺の  
ため  
に  
女  
守  
つ  
て  
く  
れ  
た  
っ  
て  
…

ホント?

我を疑って  
おるのか…？

いや  
疑ってるわけ  
じゃないんだ

…ただ…

お前の…

絶対  
はじめじゃ  
ないから

おまえもあの  
ギルガメッシュも  
嘘はつかないよ

俺のために  
いままで

ずっと一人で  
させてたんだしたら  
申し訳ないなって…

…フン

申し訳なく  
思うのなら  
とくと奉仕せよ

無限八方邪龍ハイ  
パリアクメMAM  
超振動プレミアム  
でさえお前のもの  
には遠く及ばなん  
だわ

コレだ！

…呪文？

※グロすぎるため見せられません。







あっ...あっ

あっ...んん!

お前はほんと

お尻好きだよな

ひう...きう...

や...やあっあっ

もうだいたい  
広がったぞ

ほら  
すげえ開く

はあうッ!



アあっ痴れ者お...ッ

こうすると  
もっといいだろ

3本も  
大丈夫そうだな

そう?..  
きもちい?

やだあ...っ!

あっあっあっ

あっあっそれやだあ!



このまま  
キスしてイって  
みよっか？

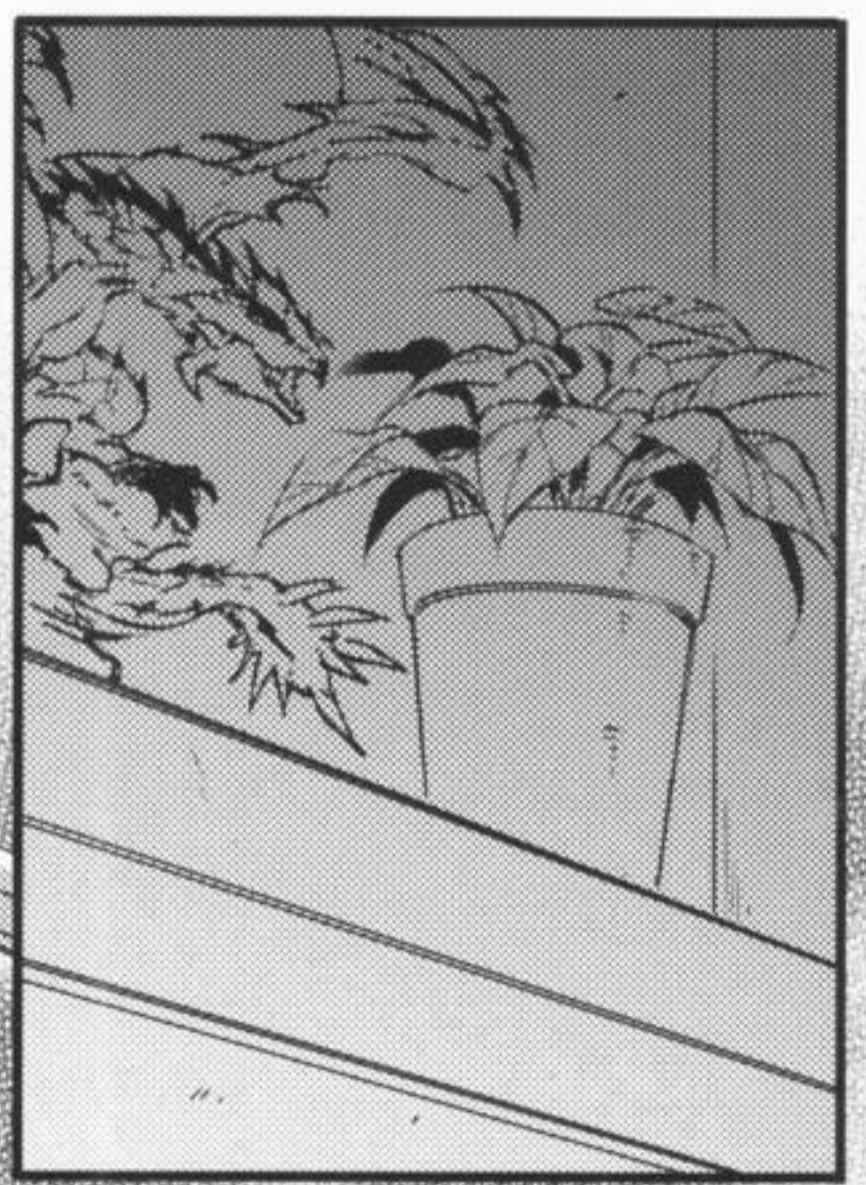


我で  
遊んで  
いる  
であ  
ろう...





もっと...





刃紋の出が  
イマイチ……

……



もうちよい  
か  
……  
研磨が  
……  
いるか

……



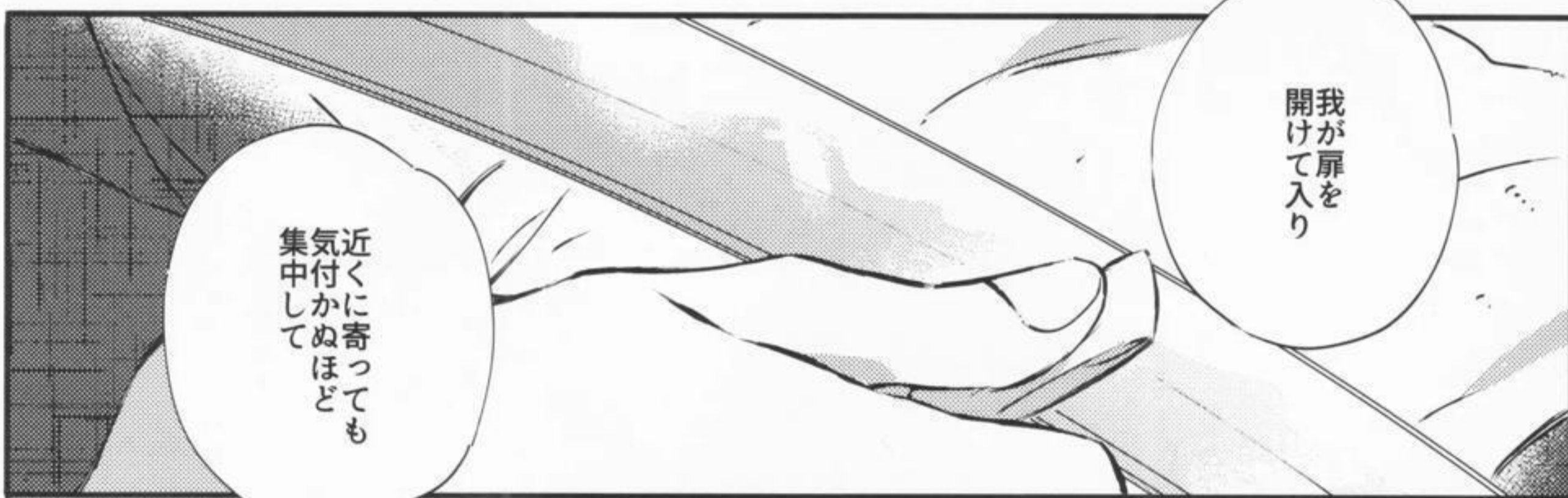
……



お前は  
本当に士郎に  
似ておるな

あやつも  
夜な夜な  
ひたり

蔵に籠って  
魔術の腕を  
磨いていた



我が扉を  
開けて入り

近くに寄っても  
気付かぬほど  
集中して



思えば本当に  
頑固な職人の  
ようであつたわ

：頑固な職人で  
悪かったな



家の扇風機が  
壊れた時だつて  
そうだ

買い直せば  
よいだろうに  
あやつは



自分で治すと  
言い張り夜明け  
まで格闘して  
いたな





ものすごい音が  
……

今

……ンンッ

どしたの  
王さま……



あとでしぼく

奴め

ねよねよ

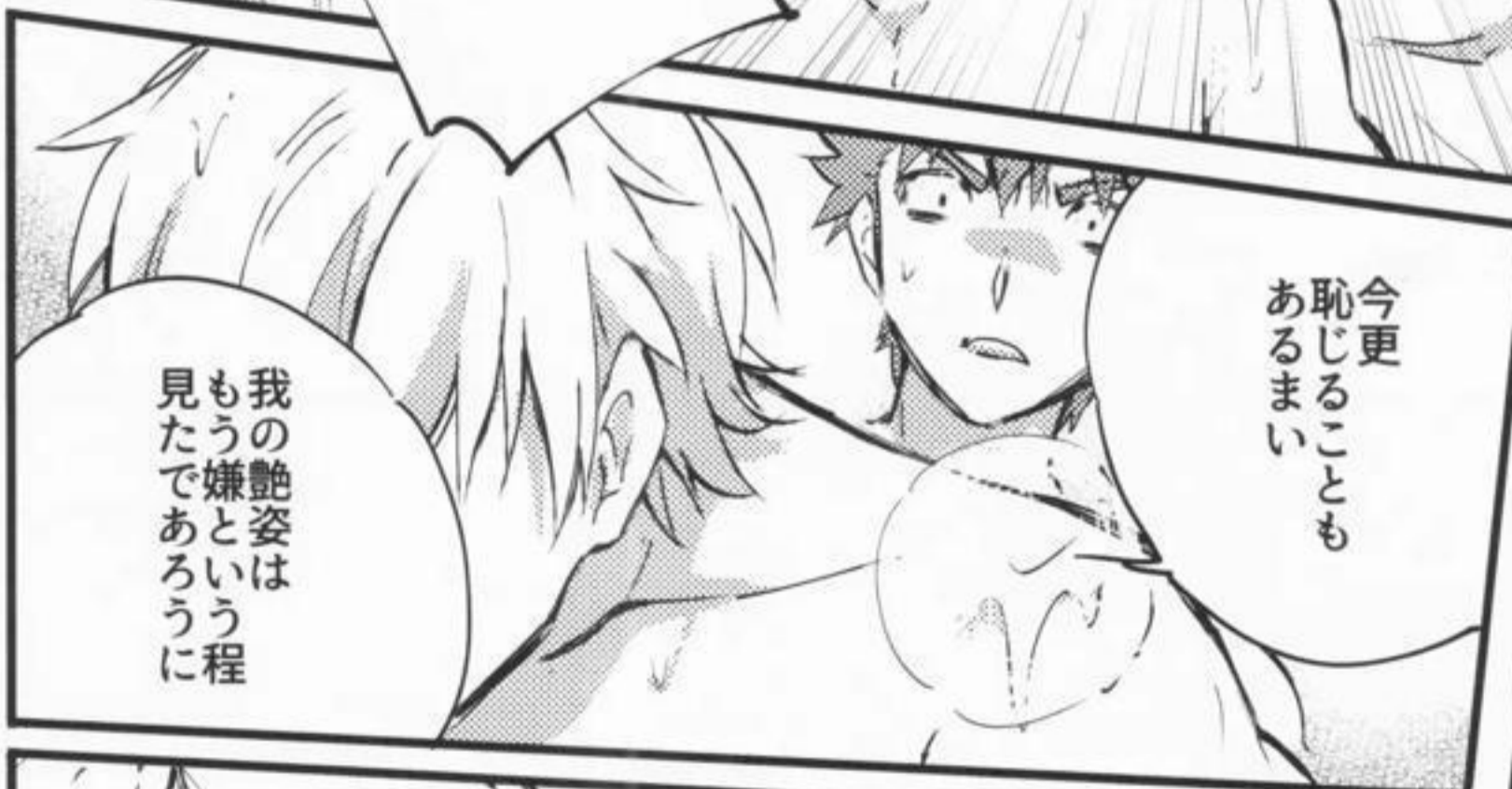
また黒髪が誰かに  
だしばかされたん  
……

いつもの  
事さ



……





……  
分かんのか

どんな  
些細な変化でも  
見逃すことは  
ないぞ

なにせ士郎とは  
の生涯を共にしたの  
だからな

最中

士郎の目つきが  
お前のものにな  
る時がある

しかしその男の  
体を使っていな  
がら

この状況で  
なぜ勃たせぬ  
のだ……？

いや……  
だ……  
やりまくりゃあ……

そういう  
所だ村正ッ!!

士郎が  
起きておればッ

たちまち  
いきり立って  
飛びかかってくる  
というに!

おめえ……  
俺に襲われ  
てエのか?

そういう  
事ではないッ

よいか村正!

我にとつてお前は  
すでに士郎の一部で  
あるのだぞ!

別に  
士郎として  
振舞えと申して  
いるのではない

我はただ...

...愛する男の  
一部として

お前も  
愛している

我が士郎の  
ものだからと

傲慢にも  
謙譲している  
のなら許さぬぞ

全く士郎と  
お前と  
人間は頭が  
いい極東の  
かたい!

この身を  
好きなだけ抱く  
権利を持つておる  
というのにつ

襲うとは  
何だ襲うとは!

まるで我が  
お前を嫌がる前提の  
ようではないかっ!



おめえは  
優しいな

ギルガメッシュ



…どうも  
二心同体ってエのは  
何でも共有しちゃまう  
らしくてよ

もし今  
農ン中で寝てる  
士郎が欲求不満で  
死にそうになって



ホントに  
今頃いきり立って  
おめえに飛びかかっ  
てもな



でも  
本當に農は  
満たされてんだよ  
不思議なこと

別に  
おめえに  
お後れして  
訳じゃない



まあでも暫く  
欲求不満とは無縁  
になりそうだ  
おめえらやりまく  
ってるから

農も別に  
それで良い  
……

…というか  
むしろ農まで  
快く思いたら  
バチ当たるな  
なるくらいな  
不安だ

だから何も  
おめえは  
気にしなくて  
いい



強いて言うなら  
好きでいても士郎を

…でも  
受け入れてくれて  
ありがとうな



おめえが僕を  
どう思ってるか  
それだけだと  
不安だった

私の裸を見て  
勃たんの気が  
食わぬ



だーから  
それは今士郎が  
寝てっから  
だろうがっ

僕個人は  
そこまで絶倫  
じゃねえっつ  
ってんだよ!

気に  
くわん!

これだから  
アガッたら  
ジジイは

**ツこの野郎!!**  
**まだ**  
**現役だ!!**

おらア  
さつさと  
ケツ出せ!

若いつてのは  
いいよなア:

…ったく



…フハッ

もう一人の  
私のようにな  
しみたのたな  
事を言うの





もう一人って  
キヤスターの方か

あいつあ  
まだ若えだろ

あつ...そう  
だぞ...っ

はあん...っ

何を...んっ  
言っておるのだ  
...お前は...



神に愛されし  
我が美貌が...っ  
損なわれると  
でも...? ?

老いごときで  
...あつ...



あれは...っ  
人の王を務め上げた  
晩年の我であるが  
ゆえ...

もうやめよ...っ

もう  
これ以上は...っ



...どうした  
手が止まって  
おるぞ

拝謁の際は  
この我に対する  
以上の畏れをもって  
平伏すがいい...



無礼の  
限りを尽くした  
ような……

……さや

……んん……  
ならよいが



あああ  
悪い……

っん……  
もしや貴様……っ



もう一人の  
我に何か……あつ……  
無礼を働いたのでは  
あるまいな……?



痛くしねえから  
じっとしてろよ



……  
奥の方が  
とれねえな  
ちっと待て  
カキ  
カキ

む？



……村正？



お前

何を……

はう……ッ

なっなんだ!

こら  
暴れるなって

何なのだ!?

うう……っ  
何をしておる  
貴様あ……ッ!

何って  
掃除だろうが

そうっ……

痛くは  
ねえだろ?

あっああ……っ!

そういう  
問題ではあ……っ

ひあああ  
深い……っ

我  
ながら

うっ……うっ……

頭が  
いいな  
コレは……





コイツが  
あれば

面白くなって  
きやがった...!

ひやあう!

奥の  
残り汁まで

なっなに

なんなのだ!?

何をしておる!?

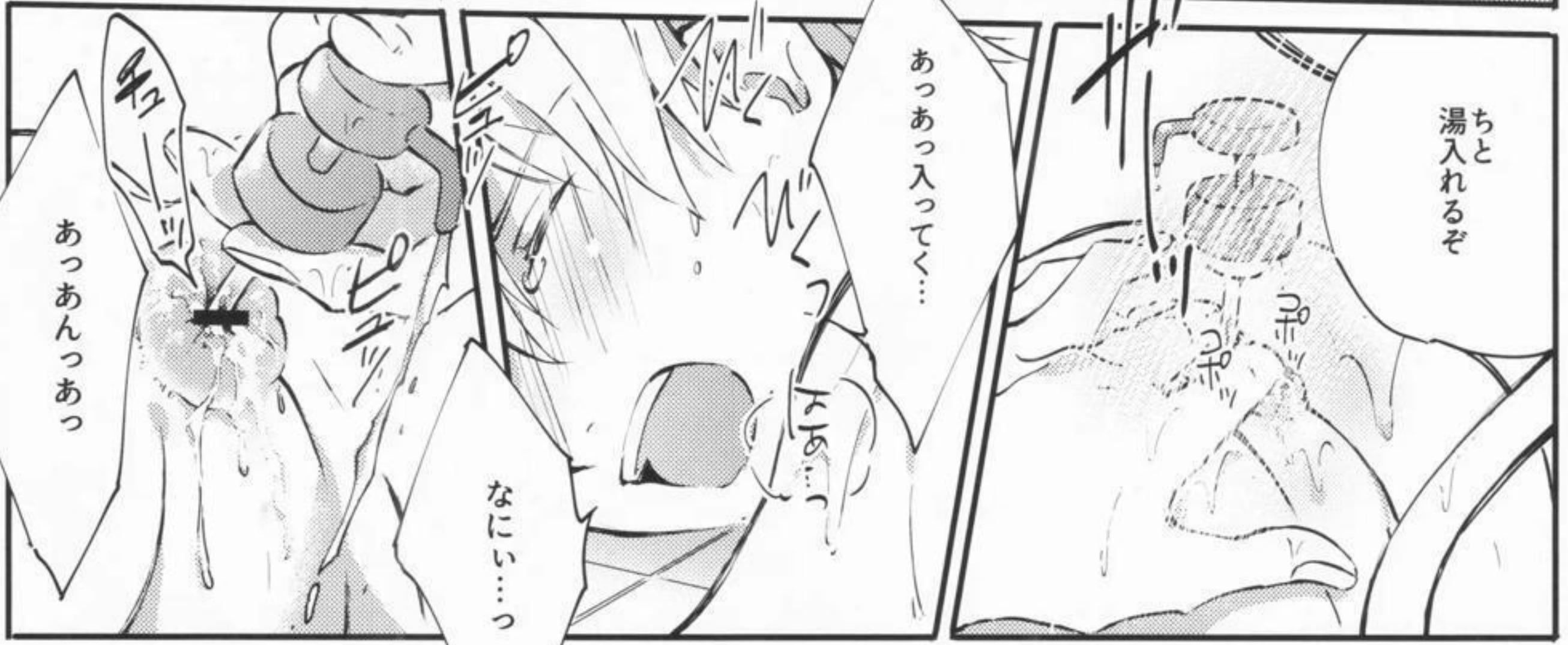
一網打尽...!

やあ...っ

あ...っ



今のは  
一体...っ

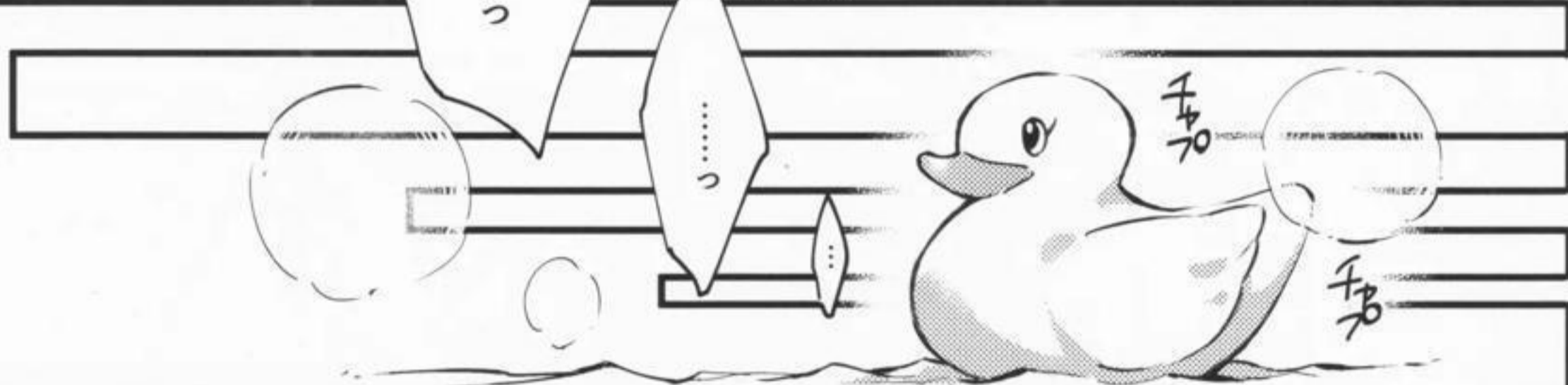


ちと  
湯入れるぞ

あっあっ入ってく...

あっあんっあっ

なに...っ









おどしたどした  
ンマンマ……

おはよう

……



……  
貴様



あちやんと  
イけたか？

賢者タイムも  
とうに過ぎたわ  
ばかもの！



我を何だと  
想っておるのだ  
……？

いや

待てちがう

昔  
身寄りのねえ  
子供を引取った  
事があったよ

そいつらをよく  
風呂に入れてやっ  
て風呂なんてそれ  
以来だから思い出  
しちまって



……ッその逸物を  
おっ勃たてん  
どころか

有り得ぬ……！

我が艶姿を  
見て子供を  
思い出すなど

そもそも何故  
おらぬのだ……

この世で最も  
美しいものが  
最も美しく輝く  
奇跡の瞬間で  
あるのに



聞くがよい  
士郎!

村正の奴が  
酷いのだぞ!

中を清めよと  
命じたらあろう事か  
を...

やっぱ  
分からんか?

.....

ニヤマ

なア...っ

おのれ!!

おののののの  
ののののの  
えおおおの  
ののののの

王を!

愚弄するか

おめエホントに  
かわいすぎるぞ

おなせえっ



何でこんな  
ポロポロなんだ  
……？

俺の体……

すげえ……



……  
魔術師の人

あ……あの  
白……

回復……  
できる人……



きもち  
いい……

回復できる人



ウフフ

きもちいいね  
王様

「ああ気持ち  
よいぞマーリン」

あ……  
すみません……





**To be continued...**



After 7 Days

STARDUST LOVESONG  
encore special story **1st**

発行：SpringLOVE(まだら) 印刷：トム出版さま

Mail：jackkanipan-w@hotmail.co.jp  
Twitter：mdr\_tobiei  
Pixiv：1881767

ネットオークション出品・無断転載はご遠慮ください。  
インターネット上に無断で転載した場合、1pにつき5万円の使用料のお支払いに同意したものとします。



ここまでお読みいただきありがとうございました！

なんとまた続きますこのシリーズ  
村正が実装されない憂さを本出すことで晴らしてるところがあるんで  
憂さ晴らしが済むまで続きますよコレは…原稿してると実装されてる気がするからね(かわいそう)

っていうのが本音で建前は冒頭でも綴ったとおり前作の補完です  
見る人によっては「村正的にはハッピーエンドじゃないやんけ！」てなりかねない  
説明不足を補うための本です  
ハッピーエンドを証明するための本でことで幸せいっぱい7日間でお送りしたい…！

二心同体とは如何なるものかはその偉大なる遊●王先生が教えてくれたので  
士郎と村正まあんなような関係だと思って頂ければ。  
●戯王がわからない人はメチャクチャ面白いから読んでくれ(ステマ

前作の最後で士郎が訊いた「ギルガメッシュとHしたいか」は  
「(自分の意思で体を動かして)ギルガメッシュとHしたいか」ということで  
村正が答えた「おめえに任せる」は「(体の操作を)おめえに任せる」ということで  
長年連れ添ってきた士郎が抱いてあげるのが  
やはり一番ギルガメッシュは感じておおらかになるので  
「任せる」とは遠慮どころかその方が自身も気持ちよくなれるからという  
スケベジジイの身も蓋もない要望でした

つまり戦闘の時は村正が体を動かす係を担当するってことですね  
そうやってお互いの得意不得意とその場の状況で柔軟に担当を変えていこう  
そんなような事をあの晩ふたりは話し合いました

なのでどちらかが爆睡してない限り普通に同じものを見て同じものを感じています  
どちらか片方が体を動かしている時のもう片方の感覚を例えるならそう…  
4Dの超リアルVRをCON操作でプレイしてる感じ…だとわかりやすいかな！？

いや複雑極まりないわ！この説明をわかりやすくあれの中に収めるなんて無理イ！！！！

てことでこれからの日常編もぜひお付き合いください～っっ

# STARDUST LOVE SONG

encore special story

1st



涙の後の愛の七日間。

After 7 Days